

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)地域密着型介護老人福祉施設 逢谷内 新築工事 新潟県新潟市東区新松崎一丁目573-1 外10筆 都市計画区域内、22条区域 病院、 2019年12月 予定 2,462.80 m <sup>2</sup> 1,389.20 m <sup>2</sup> 3,408.18 m <sup>2</sup> 地上3F S造 基本設計段階評価 2019年2月19日	
---	--	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{45.9}{45.5} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア	値
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	LR2.1.1	3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

自然エネルギーの取組み  
開口部や外壁の高断熱化により、建物の熱負荷抑制に配慮している。

資源循環の取組み  
躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、解体廃棄時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。

# CASBEE新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)地域密着型介護老人福祉施設 逢谷内 新築工事	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市東区新松崎一丁目573-1 外10筆	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、22条区域	平均居住人員	57 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年2月19日
敷地面積	2,463 m <sup>2</sup>	作成者	渡辺 邦夫
建築面積	1,389 m <sup>2</sup>	確認日	2019年2月19日
延床面積	3,408 m <sup>2</sup>	確認者	渡辺 邦夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2</p> <p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9</p> <p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.2</p>		
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2</p> <p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0</p> <p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2</p>		

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物全体に有害物質を含まない材料を使用しており、住民に対して住みやすい環境を提供している。また建物の維持管理もしやすくなっている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建物全体に使われている建材は、化学汚染物質に対する配慮がされたものを使用しており、汚染物質の発生を最小限に抑えている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物の維持管理がしやすい環境となっている。補修も頻繁に行うことの無いよう、耐用年数の長い材料を使用し、環境に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>住民にとっても周辺地域にとっても住みやすい環境を整えている。緑地を建物の周囲に設けて緩衝材の役割をしている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>等級3の建物であるが基準値はクリアしている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない材料を使用しており、環境にやさしい建物となっている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>利用者の駐車場が備わっている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される